

今週のビルマのニュース 2010年10月8日【1037号】

スーチー氏「NLDの解党は不当」と最高裁に訴え

・民主化運動指導者アウンサンスーチー氏は、自らが率いる国民民主連盟(NLD)が解党処分されたことを不当として訴えを起し、最高裁はこれを受理した(5日・7日DVB)。軍政は、NLDが総選挙に参加するための政党登録を行わなかったことを理由に、9月に同党の解党を正式に発表していた。

豊田通商がビルマの事業から撤退

・豊田通商が、ビルマで自動車等を生産するジョイントベンチャーから撤退していたことがわかった。親会社であるトヨタ自動車側は「ビジネス上の判断だった」としているが、ビルマの人権状況を理由に数年前から米国の複数の社会的責任投資ファンドが豊田通商の撤退を求めていた(4日ロイター)。

ASEM8議長声明「自由・公正な選挙が望ましい」

・第8回アジア欧州会合(ASEM8)がブリュッセルで4~5日に開かれ、参加国首脳はビルマの選挙が自由、公正かつ包括的であるために必要な措置を講じるよう軍政に求めた。また「すべての拘禁者が適時に釈放されることで、選挙がより包括的、参加可能かつ透明なものとなる」として総選挙実施前に政治囚を解放するよう呼びかけた。議長声明はアウンサンスーチー氏にも言及した(議長声明)。

【ビルマの政治囚】政治囚支援協会(AAPP)によれば、3日現在ビルマには2193人の政治囚がおり、うち約400人が国民民主連盟(NLD)党员。

横田洋三氏「国連による調査が必要」

・国連人権特別報告者を務めた横田洋三氏とセルジオ・ピニェイロ氏が5日、EUのアシュトン外交安全保障上級代表に手紙を出し、ビルマで「人道に対する罪」等が起きている疑いについてEUが国連による調査委設置を提案するべきだと述べた。

【国連調査委員会設置とは】軍政指揮下で国軍が民間人を狙って攻撃を仕掛けたり、強制労働の使用や少数民族女性の強かん等深刻な人権侵害が組織的かつ広範に行われている疑いを国連が正式に調査すること。国際刑事裁判所(ICC)等への付託の準備とも言える手続きで、英米豪など十数か国が支持。

ビルマへの政府開発援助(ODA) 約束状況など
新たな発表はなし

注目の記事

「創造的なビルマ連帯に向けて—映画『ビルマVJ』原作者に聞く」映画「ビルマVJ 消された革命」原作者のヤン・クログスガード氏と、ビルマ情報ネットワークの箱田徹、秋元由紀との鼎談録。
<http://www.burmainfo.org/>

イベント情報

・「UNHCR 難民映画祭 2010」ビルマ難民問題についての作品も上映。『遙かなる火星への旅』『OUR LIFE-僕らの難民キャンプの日々』(イタリア文化会館、セルバンテス文化センター他、10日まで)

・日本ビルマ救援センター月例ビルマ問題学習会「ビルマ、ラカイン(アラカン)州からの所見」講師：リチャード・ハンフリーズ氏(大阪ボランティアセンター、20日19時~)

・ビルマ僧アシンターワラ師の対話集会 in 名古屋 主催：日本ビルマ問題を考える会 大隅良務(名古屋市女性会館、23日18時~)

・アムネスティ創立40&50周年記念キャンドルキヤラバン in 水戸 ドキュメンタリー『ピュア ビルマ難民キャンプの子どもたち』上映・ココラット氏講演会 アムネスティ水戸グループ主催(水戸市あむねすみと2Fハンダアカデミー、24日13時)

・『声なき難民の声をきく連続セミナー：日本社会をみつめる難民—今秋スタートする「第三国定住」を問う』アムネスティ・インターナショナル日本主催 第1回「第三国定住の功と罪—ビルマ難民の現況」講師：中尾恵子氏(日本ビルマ救援センター)、マ・テンテンウー氏(ビルマ難民)(31日14時~、専修大神田キャンパス7号館731教室)★要申込

もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース(平日毎日更新)
<http://www.burmainfo.org/news/today.php?mode=2>

Twitter公式アカウントはBurmaInfoJapan

ビルマ情報ネットワーク
<http://www.burmainfo.org>

お問い合わせ

ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀
yuki@burmainfo.org 080-2006-0165